

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 広報紙で振り返る奥州市の10年
- 4 市長年頭あいさつ
- 6 【新春特集】希望郷いわて国体・希望郷いわて大会 迎える2016年。
- 10 協働のまちづくりは第2ステージへ
- 12 個人番号カードを受け取りに行こう
- 14 地域6次産業化——育てよう元気の芽
姉妹都市 掛川だより
- 15 奥州市民劇「大地の侍」グラフ
- 16 I L C 希望のひかり
- 17 市政ズームイン
- 18 まちの話題
- 20 夢トーク
青春讃歌
- 21 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅讎盤」
- 22 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 23 子そだて広場
子そだて行事予定
- 24 情報あらかると
- 28 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市

キラリ輝く奥州人

“ほっこり”と安らぐ
和の空間を提供

齋藤 和子さん（61歳）
〓 衣川区古戸 〓



布地の柄をどう見せるかをイメージしながら木目込んでいく

※木目込み人形をはじめ、反物のタペストリーや季節の和物、石庭や山の草木が心を和ませる。和のテイスト溢れるギャラリーで、齋藤和子さんは来客をもてなす。

普段から着物で過ごす母を見て「大人になったら着物を着たい」と思った。高校卒業後は和裁の専門学校に進み、呉服店に就職。出産を機に退職した後、自分の着物や子供服などは自ら縫った。

木目込み人形には30代で出会った。本格的に作り始めたのは、子育てが一段落してか



さいとう・かずこ◎昭和29年、宮城県石巻市生まれ。東京木目込人形師範会教授。自宅敷地内で「和のぎやらしい 和纒」を営みながら、齋藤和纒の名で木目込み人形作りに取り組む。夫、長男との3人家族

らのこと。カルチャー講座を47歳から受講し、東京木目込人形師範会盛岡支部「杜纒会」に入会。腕を磨きながら全国作品展に出品し、最高賞の会長賞や技能賞などを受賞した。伝統工芸である木目込み人形の魅力を多くの人に知ってもらおうと、平成24年に「和のぎやらしい 和纒」をオープン。「作品を見て、和の空間に触れて“ほっこり”としてほしい。一休みして前に進むお手伝いができれば」とほほ笑む和子さんは、訪れる人に安らぎを届けている。

※桐塀や木で作った人形に溝を彫り、布地を入れ込んで（木目込んで）衣装を着せ付けた人形

〈今月の表紙〉



ことしの干支にちなんだ企画展「ウッキウキ！サル展」の関連イベント「絵本の読み聞かせと餅つき」が12月5日、牛の博物館で行われました。読み聞かせグループ「おはなし広場」が絵本と紙芝居、人形劇を披露。続く餅つきでは、大太鼓の合図に「よいしょ！よいしょ！」の掛け声で、子どもたちが元気いっぱい餅をつきました。

完成した餅はとても柔らかく大好評。兄弟で参加した水沢小学校3年の丹内慧君（9）と同1年の怜君（7）は「力がほしくて大変だったけど、自分でついたお餅はとてもおいしい」と笑顔を見せていました。

広報紙で振り返る

奥州市の10年

第10回（2015年版）

水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村の5市町村が、平成18年2月20日に合併して誕生した本市は、28年2月20日で丸10年となります。その節目を迎える本年度は、これまで広報紙に掲載した主な出来事を、皆さんに毎月お知らせしていきます。

■問い合わせ〓本庁政策企画課広聴広報係（内線419）

協働のまちづくりの担い手が地域へと羽ばたく

本市が市政の大きな柱に位置付ける「市民との協働によるまちづくり」。その担い手を育成する「協働のまちづくりアカデミー」の1期生が27年3月19日、研修の全てを終

えて地域へと羽ばたきました。年齢や職業、地域もさまざまな1期生29人が、ワークショップやプレゼンテーションの手法のほか、地域に向いて地域課題の解決策を探る「アクションプログラム」などを通じ、まちづくりの知識や技術を学びました。

三大マラソン大会に幕

前年終了した奥州えさし国際交流マラソンに続き、10月11日に奥州焼石ファミリーマラソンが、11月1日にスポニチ奥州前沢マラソンがそれぞれの歴史に幕を下ろしました。



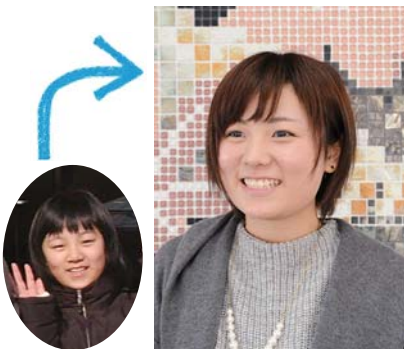
最後の大会を笑顔で駆け抜けた

年月日	合併10年目の主な出来事
27.2.28	奥州 食の黄金文化祭2015「おやつフェスティバル」を初開催
3.14	東北新幹線水沢江刺駅開業30周年記念式典が挙行される
3.19	協働のまちづくりアカデミー1期生が卒業
4.1	メイプル地下に奥州パーソナル・サポート・センターをオープン
4.11	旧胆沢ダム学習館が奥州湖交流館としてリニューアルオープン
5.7～19	市内5会場で地域自治区に係る説明会を開催
7.4～11.22	カヌー競技を皮切りに、市内各地で希望郷いわて国体のリハーサル大会が開催
8.22	本城咲良選手が全国小学生陸上交流大会女子ソフトボール投げで優勝
8.22～26	今野文翔選手が全国JOCジュニア五輪カップ夏季水泳競技大会で金銀3つのメダルを獲得
9.28	奥州・北上・金ヶ崎・西和賀定住自立圏形成に向けた協定を締結
10.11	奥州焼石ファミリーマラソンが通算26回開催の歴史に幕
10.15～11.28	市内30会場で将来の市政のあり方広聴会を開催
11.1	スポニチ奥州前沢マラソンが通算33回開催の歴史に幕
11.13	飯坂昇一さんが全畜連肉用牛枝肉共進会で最優秀賞を受賞
12.22	新マラソン大会の名称が決定
28.2.20	新市誕生10周年記念式典を挙行（予定）



協働のまちづくりアカデミー1期生の2年間にわたる活動を掲載した広報おうしゅう 2015年3月号

10年の節目を迎える
市民に聞く――



佐藤 聖未さん（22）

profile

さとう・さとみ◎平成5年、衣川区嗜味生まれ。常盤小学校6年生当時の18年2月20日、市役所開庁式に参加。式典から10年目を迎えた現在、看護師として県立胆沢病院に勤務している。母、姉、弟との4人家族

合併は、衣川から水沢に引っ越してすぐのことでした。「水沢のことを知ってほしい」と常盤小の先生に勧められ、開庁式に参加しました。

実は後日、参加したメンバーで奥州市の名前や市章の由来などを全校発表することになり、みんなで勉強したんです。当時、私たちほど奥州市のことを知っている小学生はいなかったと思います。

中学2年生のときに江刺に引っ越しましたが、昨年の成人式で衣川や水沢の旧友とも再会でき、とてもうれしかったです。合併で交流の輪が広がったと感じています。

あれから10年、「看護師として地元で働く」という夢が叶ったことが一番大きな出来事。市民の一人として、活気あふれるまちを作っていくたいです。

※広報おうしゅう創刊号（18年3月発行）表紙に掲載